



施工業者様用

〈施工説明書〉

H20 H24 3方枠
内装ドア専用枠材(隠し丁番仕様)

ドレタス

固定枠

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。
屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。

・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。
インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそれがあります。

・ビスはビス穴に取り付ける。
ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原因となり危険です。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。
本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・躯体に欠点がないことを確認する。
枠材固定のビスがあたる部分に節や割れなどの欠点がある場合、枠材が確実に固定されず、はずれてしまう原因となり危険ですので、強固に固定できるよう下穴や下地材を入れてください。

・同梱の金具を使用する。
本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。

お願い

・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

施工終了後

養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

お手入れのしかた

製品の表面が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

開梱

梱包を開いたら枠材本体および下表の付属品に不足および問題がないかどうかを確認してください。

■ 梱包内訳表

部材名	数量
縦枠	2本
縦枠用戸当り	2本
上枠	1本
上枠用戸当り	1本
ビスセット ZYBA23※	1セット
戸当り用接着剤 ZYGL50	1個
丁番セット	1セット

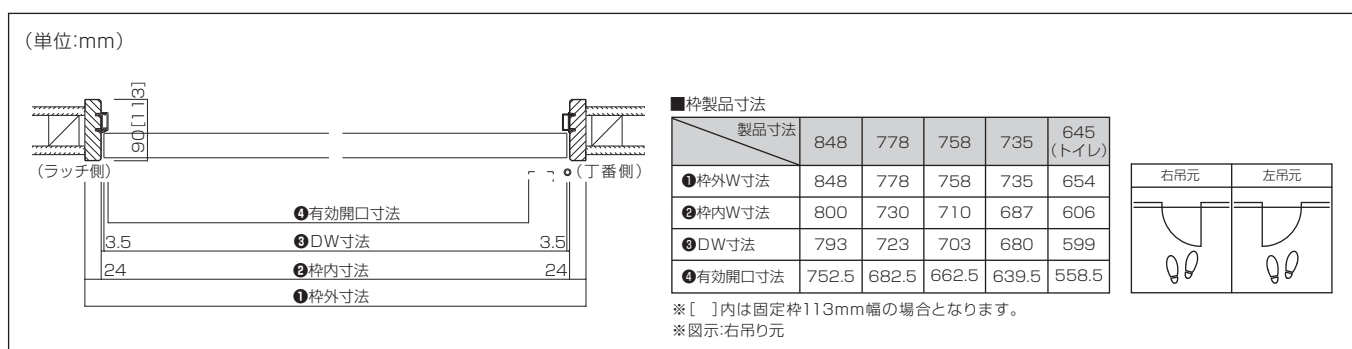
※ビスセットについて商品の種類によって同梱されていても使用しない部材があります。

丁番セット(2丁番の合計数)

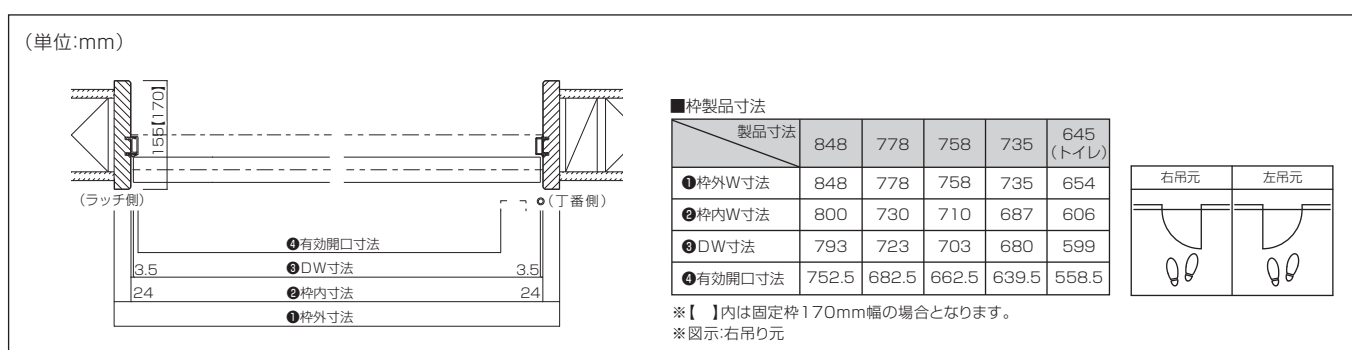
部材名	丁番 本体	枠材 カバー材	扉側 カバー材	枠・扉用 取付ビス	調整用 六角レンチ 呼び3	丁番施工 アシスト 治具
入 数	2個	4個	4個	8本 φ5×20	1本	2個
備 考 (部材品番)	—	—	—	—	—	—

納まり図

■ 横断面図 (固定枠 90mm・113mm)



■ 横断面図 (固定枠 155mm・170mm)



■縦断面図(固定枠 90mm・113mm)

(単位:mm)

3方枠(T)	3方枠(T)+下枠N型
下枠なし	下枠N型
82 [113] 36 13 DH寸法=1,995(2,195) [2,360] 3 枠内寸法=2,011(2,211) [2,376] 24 枠外寸法=2,035(2,235) [2,400] 12 縦枠下端加工図 90 [113]	82 [113] 36 10 DH寸法=1,995(2,195) [2,360] 3 枠内寸法=2,008(2,208) [2,373] 24 枠外寸法=2,035(2,235) [2,400] 12 縦枠下端加工図 90 [113] フロア張り込み位置 壁(枠)センター (ドア側) 41 41 [52.5] [52.5] 床 82 [113] 床

幅寸法について

※【 】内は固定枠113mm幅の寸法です。

高さ寸法について

※数字のみはH20(DH=1,995)の寸法です。

※()内はH22(DH=2,195)の寸法です。

※「 」内はH24(DH=2,360)の寸法です。

3方枠(T)+オプション下枠	
床直付けレール	樹脂(両ツバ)下枠
82 [113] 36 10 DH寸法=1,995(2,195) [2,360] 3 枠内寸法=2,008(2,208) [2,379] 24 枠外寸法=2,035(2,235) [2,400] 12 縦枠下端加工図 90 [113] 床直付けレール取付位置 壁(枠)センター (ドア側) 5 [16.5] 36 床 床	82 [113] 36 10 DH寸法=1,995(2,195) [2,360] 3 枠内寸法=2,008(2,208) [2,376] 24 枠外寸法=2,035(2,235) [2,400] 12 縦枠下端加工図 90 [113] フロア張り込み位置 壁センター 床 9.5 [21] 27 床 (ドア側)

幅寸法について

※【 】内は固定枠113mm幅の寸法です。

高さ寸法について

※数字のみはH20(DH=1,995)の寸法です。

※()内はH22(DH=2,195)の寸法です。

※「 」内はH24(DH=2,360)の寸法です。

■縦断面図 (固定枠 155mm・170mm)

(単位:mm)

3方枠(T)	3方枠(T)+下枠Q型
下枠なし	下枠Q型
147 [162] 36 10 DH寸法=1,995(2,195) [2,360] 3 [24] 3 枠内寸法=2,011(2,211) [2,376] 12 枠外寸法=2,035(2,235) [2,400] 155 [170]	147 [162] 36 10 DH寸法=1,995(2,195) [2,360] 3 [24] 3 枠内寸法=2,008(2,208) [2,373] 12 枠外寸法=2,035(2,235) [2,400] 155 [170] フロア張り込み位置 壁(枠)センター 1.5 [9] (ドア側) 69 床

幅寸法について

※【 】内は固定枠170mm幅の寸法です。

高さ寸法について

※数字のみはH20(DH=1,995)の寸法です。

※()内はH22(DH=2,195)の寸法です。

※「 」内はH24(DH=2,360)の寸法です。

3方枠(T)+オプション下枠	
床直付けレール	樹脂(両ツバ)下枠
147 [162] 36 10 DH寸法=1,995(2,195) [2,360] 3 [24] 3 枠内寸法=2,008(2,208) [2,379] 12 枠外寸法=2,035(2,235) [2,400] 155 [170] 床直付けレール取付位置 壁(枠)センター 37.5 [45] (ドア側) 36 床	147 [162] 36 10 DH寸法=1,995(2,195) [2,360] 3 [24] 3 枠内寸法=2,008(2,208) [2,376] 12 枠外寸法=2,035(2,235) [2,400] 155 [170] フロア張り込み位置 壁(枠)センター 42 [49.5] (ドア側) 27 床

幅寸法について

※【 】内は固定枠170mm幅の寸法です。

高さ寸法について

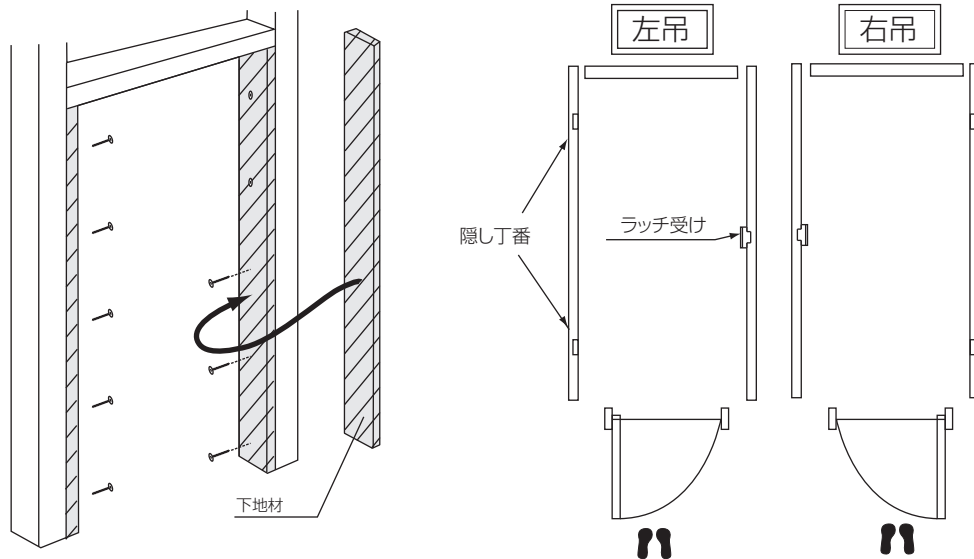
※数字のみはH20(DH=1,995)の寸法です。

※()内はH22(DH=2,195)の寸法です。

※「 」内はH24(DH=2,360)の寸法です。

■取り付け開口部の確認・枠材の吊り元確認

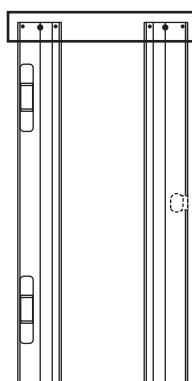
●取り付け開口部の確認



■枠材の組み立て

施工前に上下の確認を必ずしてください

【左吊りの場合】



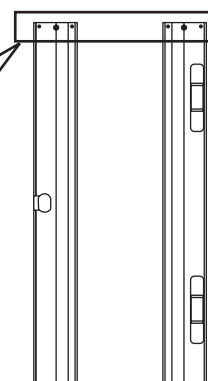
上側 穴3ヶ所

※イラストは左吊り用になります。

裏側 穴3ヶ所

※ビス穴は貫通しています。

【右吊りの場合】



3方枠(T)

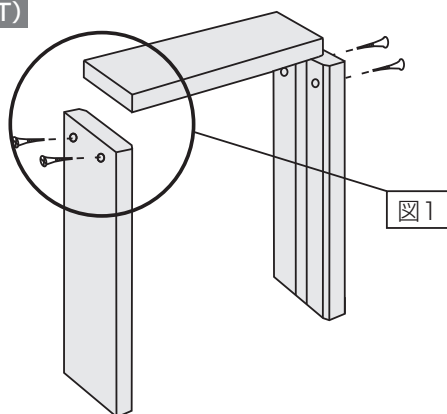
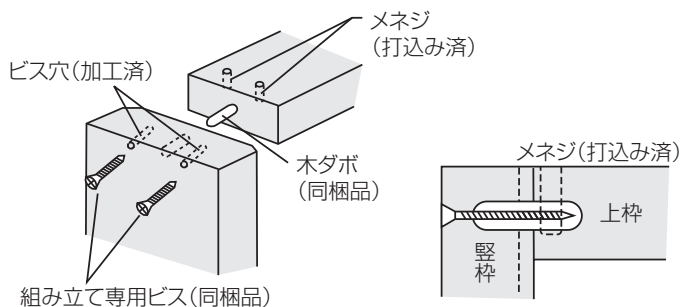


図1 木ダボおよび切口面に木工用接着剤を塗布してください。



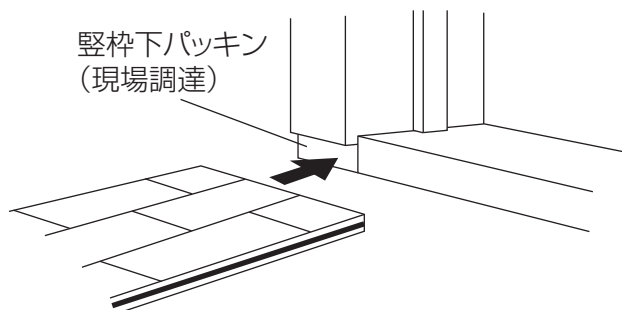
■下枠の取り付け(3方枠+下枠の場合)

下枠を縦枠内寸に合わせてカットしてください。

下枠と床の納まり

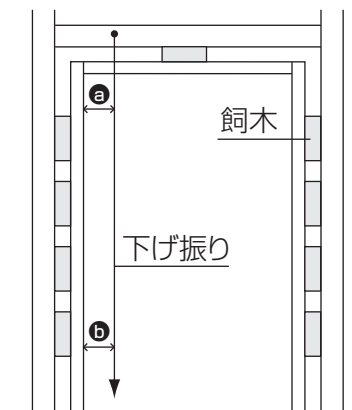
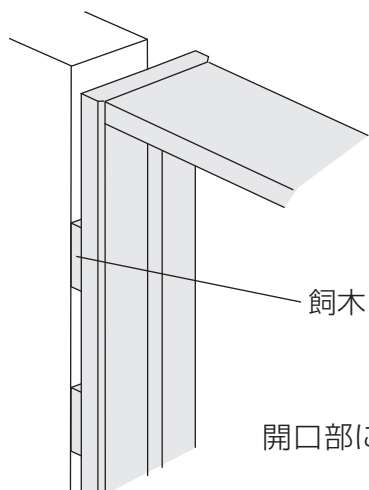
- ・縦枠下に床板と同じ厚みの材(現場調達)を入れてください。
- ・床板の厚みが15mmの場合、枠、下枠の下に3mmのベニヤなどをかませて高さを調整してください。
- ・下枠は接着剤でしっかり固定してください。

縦枠下パッキン
(現場調達)



■ 枠材の固定

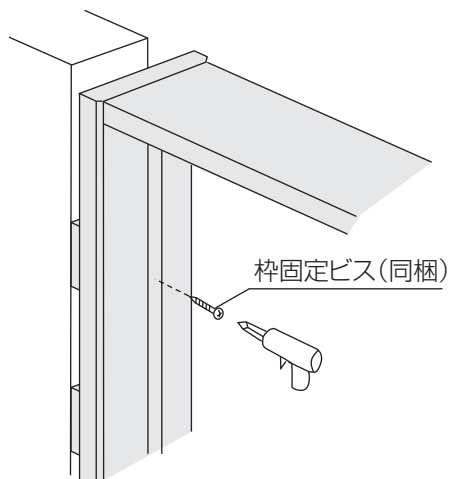
枠材の仮固定と建て付け調整



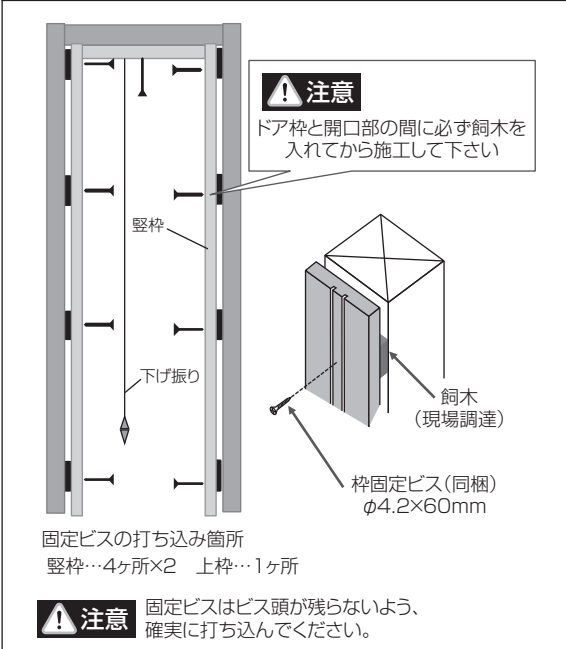
● $a=b$ となるよう調整してください。
合わせて前後の建りも調整してください。

開口部に枠材をはめ込み、飼木で水平と垂直、ネジレを調整し、仮固定します。

枠材の本固定



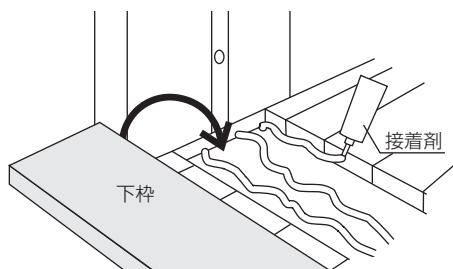
固定枠用 枠固定ビス



■ 下枠の取り付け

下枠N型

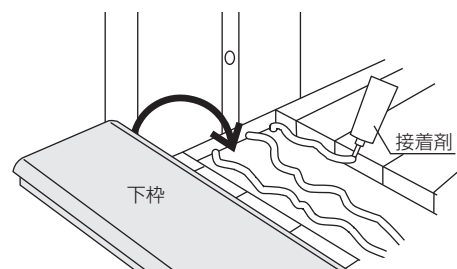
下枠を接着剤(現場調達)でしっかりと固定してください。



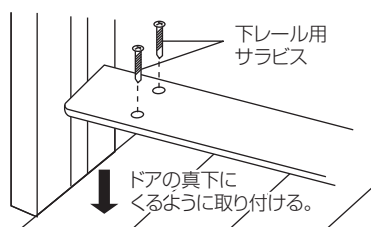
下枠Q型

下枠を接着剤(現地調達)でしっかりと固定してください。

お願い
下枠端のツバ部分をたたくと割れるおそれがあります。必ず下枠中央を目安にたたき込んでください。



床直付けレール



樹脂下枠

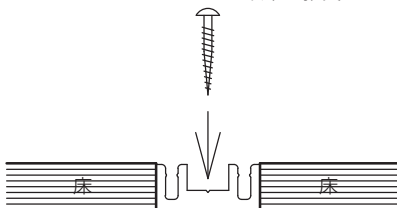
① 樹脂敷居ベース材の固定

下地に変性酢ビ系接着剤を塗布
(現場調達)



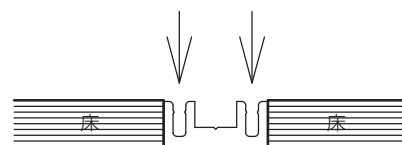
② 樹脂敷居ベース材の固定

木ビスで取付(現場調達)
ビスピッチは300mm以下を推奨



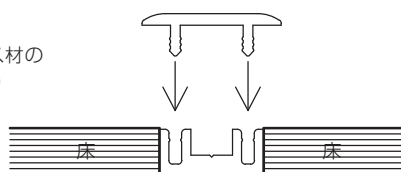
③ 樹脂敷居化粧材の固定

溝に変性酢ビ系接着剤を塗布
(現場調達)

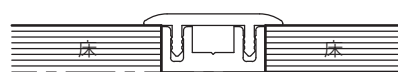


④ 樹脂敷居化粧材の固定

樹脂敷居化粧材を樹脂敷居ベース材の
溝にしっかりと押し込んでください

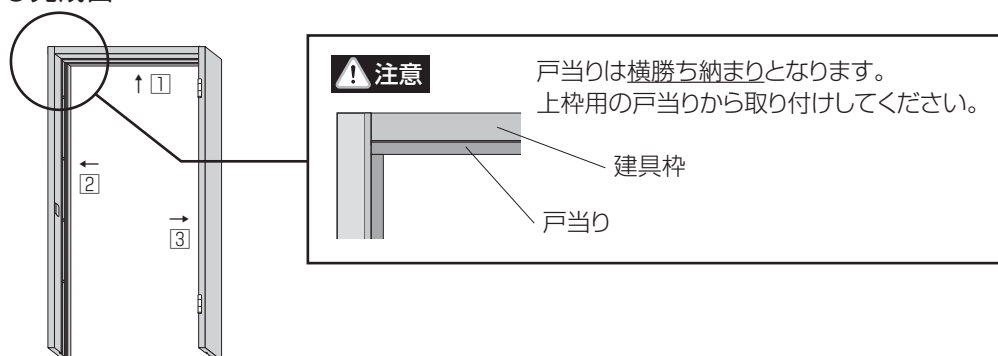


⑤ 完成



戸当り取り付け手順

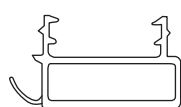
●完成図



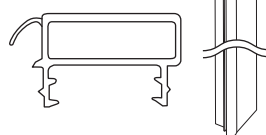
●部材一覧

① 上枠用

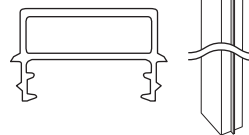
●長さカット済み



② 縦枠ラッチ側用

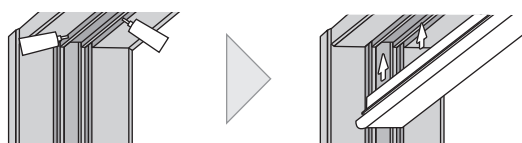


③ 縦枠吊元側用



●取り付け手順

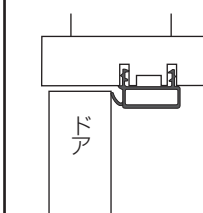
① 同梱の接着剤を溝に塗布して上枠の戸当りを取付ます。



溝に接着剤を塗布してください。

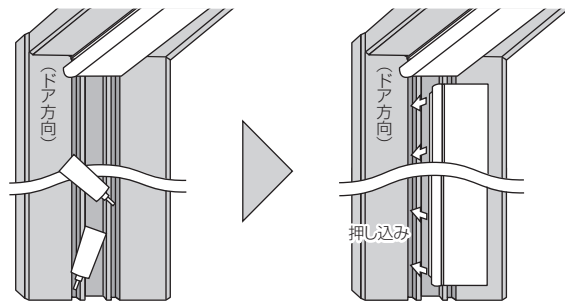
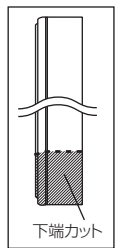
接着剤が完全に硬化するまでは、
扉の開閉等を避けてください。
接着剤の完全硬化には約5日かかります。
(硬化前に扉の開閉等を行うと戸当りが
浮く可能性があります)

戸当りの取り付け方向に
ご注意ください。

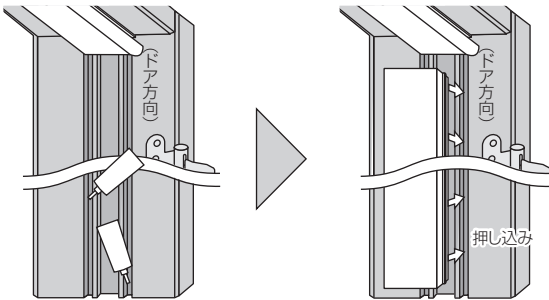
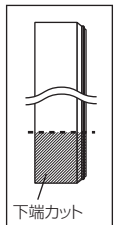


② 縦枠に戸当りの下端をカットして接着剤を溝に塗布して取り付けます。

② 縦枠ラッチ側

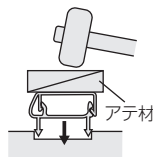


③ 縦枠吊元側



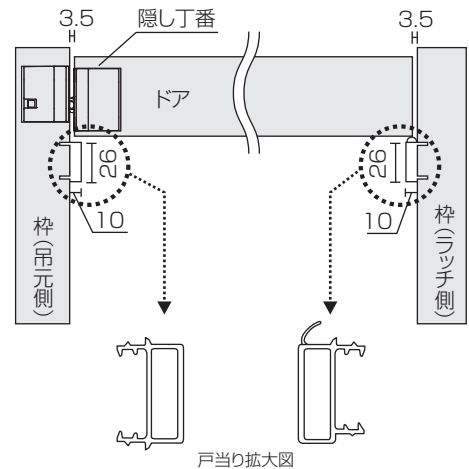
お願い

戸当りをはめ込む際、きつい場合は、必ず右図のようにアテをしたうえで軽くたたき込んでください。



注意

戸当りの取り付け位置・向きにご注意ください。



■ 丁番の取り付け

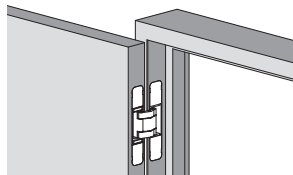
「三次元調整機能付き隠し丁番」の取り付けは、別梱包の「三次元調整機能付き隠し丁番」の中に、ございますので参照ください。

WOOD ONE
三次元調整機能付隠し丁番

《施工説明書》

株式会社 ウッドワン
（商品情報窓口）
〒738-0203
広島県広島市南区下原1-1-1
ダイヤル 020-813-331

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。
施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。



本製品について

- 扉と側板に埋込取付ける屋内建具用の隠し丁番です。
- 上下、左右、前後方向に微調整ができます。

取り付けできる扉

厚さ	29 mm以上
サイズ	幅900 mm 以下×高さ2400 mm以下

部品構成（小箱あたり）

- ・隠し丁番 2ヶ
- ・ねじカバー 4ヶ×2セット
- ・十字穴付皿タップピンねじ 5x20 4ヶ×2セット
- ・六角レンチ 呼び3 1ヶ
- ・吊込治具 2ヶ

正しく安全に施工していただくために

図記号の意味

- 警告
- 注意
- 禁止
- 必ず

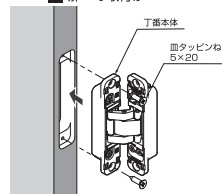
注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

- 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を使用してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉が脱落してけがをするおそれがあります。
- 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- 供用するクローザーによっては、丁番が破損したり、動きが悪くなったり、扉が閉まりきらない場合がありますので、事前にご確認ください。
- 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。扉や枠の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- 本製品は建具を構成する為の部品です。施工後に、最終製品としての機能及び安全性をご確認いただくとともに、使用者へ建具を安全に使用するための注意喚起もしてください。
- ねじの緩みや劣化がないか、定期的に点検し、増し締めをしてください（お使い始めから1か月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安としてください）。

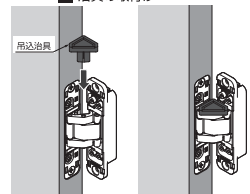
1

施工手順

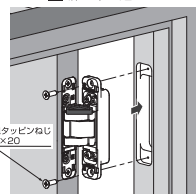
1 扉への取付け



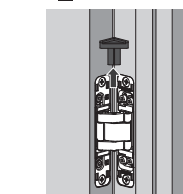
2 治具の取付け



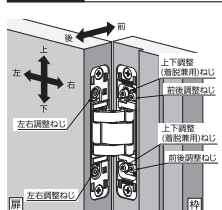
3 扉の吊り込み



4 治具の取外し



扉の位置調整



調整方向は扉を閉めた状態での方向を示します。

左右の調整
ねじ（1つの丁番に2ヶ所）を回すことで扉を動かして調整をします。
（右に回すと枠と扉のすきまが広がります）
① 2つのねじを少しずつ同じ量だけ回してください。片方だけ回し続けると丁番が破損するおそれがあります。

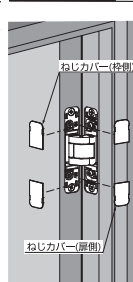
調整範囲は±2 mmです。調整ねじを右に回す時はそれ以上に回しますが、部品がせり出すため、ねじカバーがはまらなくなります。更に回し続けると扉が外れてしまいます。

上下・前後の調整

ねじを半～1回転分緩め、扉を最遠位置にした状態でねじを締め込みます。扉の下にかいもの等を用いて扉を保持しながら作業してください（推奨締めトルクは3.5 N・mです）。

- 前後調整ねじは外さないでください。扉が脱落してけがをするおそれがあります。

ねじカバーの取付け



2